

山形の美術 山形美術館 60 年のあゆみとコレクション

出品作品リスト

2024年12月13日(金)~2025年1月26日(日)

主催=山形美術館・山形新聞・山形放送
共催=山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団
後援=山形市

凡例

本リストは以下のテーマごとに展示順に表記した。

- コレクションの黎明—高橋由一の作品
- 彫刻—新海竹太郎と新海竹蔵を中心とした山形の工芸
- 山河をあらわす
- さまざまな人物表現
- 具象と抽象のあわい
- 山形の美術の推進者たち

リストには作家名、生没年、作品名、制作年、材質・技法・寸法(縦×横×奥行 cm)、高×幅×奥行 cm)、コレクション名を記載し、寄託作品には「山形美術館寄託」と付記した。

コレクションの黎明—高橋由一の作品

本章では、山形美術館最初期のコレクションである高橋由一の作品を紹介します。開館後まもなく、高橋由一「山形県景観画集(東北新道石版画下絵)」(県指定有形文化財)が収蔵され、「寒河江市隠像」、「鮭図」が相次いで寄託されました。「山形県景観画集」は、初代山形県令を務めた三島通庸の委嘱を受けた由一が石版画のために、三島が推進する土木事業により整備された県内の風景を水彩で描いた下絵のうちの53点です。《寒河江市隠像》は由一にとって三度目の山形訪問となる1887年に注文を受けて制作された肖像画で、《鮭図》も同時期の潜在を機に山形にもたらされたと考えられています。いずれも山形と由一の関わりを示す貴重な作例です。

高橋由一 1828-1894
山形県景観画集(東北新道石版画)より30点
1884
紙・水彩

- 1 南置賜郡萬世新道ノ内栗子隧道西口ノ図 18×24.2
- 2 南置賜郡栗子隧道ヨリ西口行在所側ヨリ豊受姫神社ヲ見ル 16.7×23.8
- 3 南置賜郡栗子新道ヨリ栗子隧道西口行在所ヲ觀ル 16.8×23.6
- 4 南置賜郡苅安新道隧道 16.7×23.9
- 5 南置賜郡米沢市街ノ内刺町 16.7×23.7
- 6 西置賜郡小国新道ノ内沼沢村字綱取半隧道ノ図 18×24
- 7 西置賜郡沼沢村字合体沢新道土橋ヨリ合体沢滝ヲ見ル 16.7×24
- 8 西置賜郡沼沢村内宇津岬新道ヨリ同郡手ノ子村宇津岬切削新道ヲ望ム 16.7×24
- 9 東置賜郡新道長手村内梓橋 16.7×23.8
- 10 東置賜郡赤湯村字取上ヶ坂新道ヨリ赤湯沼ヲ見ル 16.7×23.6
- 11 東置賜郡小岩沢村地内吉田橋但シ石橋 16.6×23.8
- 12 南村山郡川口村堅磐橋 16.8×23.6
- 13 南村山郡上ノ山以北新道字早坂ヨリ北ニ山形ヲ見ル 16.7×23.5
- 14 南村山郡吉原村新道ノ内酢川ニ架スル常盤橋 18×24.2
- 15 北村山郡関山村字大瀧 18×24
- 16 北村山郡関山村ノ内字小屋ノ原新道 18×23.7
- 17 北村山郡関山村ヨリ宮城県作並村ヘ通ズル隧道関山村ヨリ見ル 18×23.7
- 18 北村山郡関山村ヨリ宮城県作並村ヘ通ズル隧道作並村ヨリ見ル 18×23.8

-19 北村山郡楯岡村市街及ビ岩石ヲケズリ通路トナセシ図 16.6×23.8	新海竹太郎 1868-1927 こゞえる手先ふところに 1912	プラスチック 64.7×44.5×28	木・漆 11.9×61×33.3	川は滔々と日本海へと流れています。当館が収蔵する風景作品にはこの豊かな山河を四季折々に描いたものが多く、山形の風土がいかに作家の心を捉えてきたのかが伺えます。
-20 最上郡船形橋 船形村小国川ニアリ 16.6×24	新海竹蔵 1897-1968 少年 1963	結城哲雄 1900-1970 草花蒔絵丸型インクセット 1931	月山山頂 1966頃 紙本着色 89×164	
-21 最上郡本合海村ヨリ同郡古口村ヘ渡船場ノ図 16.5×24	新海竹太郎 1868-1927 石膏 53.6×27.7×23.7	木・漆 54.5×41×27	小松 均 1902-1989 最上川源流 1970 紙本着色 各94×370	
-22 最上郡岩根新道ノ内古口村草薙神社ノ図 18×24	新海竹太郎 1868-1927 シヴァとバルバチ 1915	新海竹蔵 1897-1968 結髪 1936	-源流 -長井付近その1	
-23 最上郡古口村ト東田川郡清川村ノ間岩根新道ノ内古口村河童渕ノ景 16.5×24	新海竹太郎 1868-1927 ブロンズ 117×42×30.5	木彫 141×80.5×50	葛飾北斎 1760-1849 『富嶽百景』より7点 1834-36頃 紙・木版	
-24 東田川郡岩根新道ノ内立谷沢川ニ架スル東雲橋ノ図 18×24	新海竹太郎 1868-1927 轆車 1921	新海竹蔵 1897-1968 扇を持つ女 1962	山形美術館寄託 各1.8×14.6	
-25 鶴岡ヨリ田川温泉ニ至ル新道字小平 16.5×23.8	新海竹太郎 1868-1927 ブロンズ 27.6×58.0×21.5	木・漆 3.3×18.2×23.9	結城哲雄 1900-1970 親鳥子鳥蒔絵銘々皿 1930	
-26 西田川郡湯ノ浜村湯ノ浜山切り割り新道ヨリ湯ノ浜村及ビ海面ヲ瞰ル 16.5×24.1	新海竹太郎 1868-1927 佐藤朝山 1888-1963	木彫 166×67×43	木・漆 19.7×25.2	
-27 西田川郡湯ノ浜村温泉場 16.5×24	新海竹太郎 1868-1927 隼	新海竹蔵 1897-1968 扇を持った富士 16.8×23.6	-3 快晴の富士 16.8×23.6	
-28 鮑海郡吹浦村南光坂新道ヨリ西北ニ海面ヲ見ル 16.7×24	新海竹太郎 1868-1927 木彫 27.5×45.5×17.5	木・漆 4.4×18.2×23.7	-4 海上の富士 16.7×23.9	
-29 鮑海郡吹浦村三崎新道中程ヨリ鳥海山ヲ東ニ見ル 16.5×24.2	新海竹太郎 1868-1927 山形美術館寄託	新海竹蔵 1897-1968 各1.8×14.6	-5 夕立の富士 16.7×23.7	
-30 最上郡塩根峠上ヨリ北ニ雄勝山タヲ見ル 18×23.7	新海竹太郎 1868-1927 牛	佐藤朝山 1888-1963 木彫 2.9×36.4×27.3	-6 宝永山出現 18.2×25.3	
高橋由一 1828-1894 寒河江市隠像 1887-88頃 キャンヴァス・油彩 62.5×51	新海竹太郎 1868-1927 木彫 33×46×15	木彫 2.9×36.4×27.3	-7 其二 18.4×25.2	
山形美術館寄託	新海竹太郎 1868-1927 子	新海竹蔵 1897-1968 中川哲哉 1897-1978	椿貞雄 1896-1957 富士山 1954	
高橋由一 1828-1894 鮭図 1878頃 キャンヴァス・油彩 129×37	新海竹太郎 1868-1927 木彫 4.5×19×6	木彫 軸盆 乾漆	キャンヴァス・油彩 115×85	
山形美術館寄託	新海竹太郎 1868-1927 山形美術館寄託	新海竹蔵 1897-1968 中川哲哉 1897-1978	渡辺義一 1893-1966 藏王山麓 1948	
高橋由一 1828-1894 鮭図 1878頃 キャンヴァス・油彩 129×37	新海竹太郎 1868-1927 木彫 4.5×19×6	木彫 仙果香合 乾漆	紙・水彩 73×103	
山形美術館寄託	新海竹太郎 1868-1927 山形美術館寄託	新海竹蔵 1897-1968 佐藤正巳 1920-2012	奈良村正史 1900-1983 藏王山風景 1964	
彫刻—新海竹太郎と新海竹蔵を中心とした山形の工芸	新海竹太郎 1868-1927 木彫 13×24.2×11.3	木彫 乾漆 24.5×9×23	キャンヴァス・油彩 91×116.4	
本章では新海竹太郎と新海竹蔵の作品を中心として紹介します。1968年、収蔵スペース拡充のため別館が建設され、かねてから収集を進めていた山形市出身の彫刻家・新海竹太郎の回顧展を実施しました。同年の6月、竹太郎の甥で当館の顧問も務めた彫刻家・新海竹蔵が急死し、9月に遺作展を開催。その後遺族から竹蔵の作品が多数寄贈されることを受け、竹太郎と竹蔵両氏を顕彰する記念室が設けられました。	新海竹太郎 1868-1927 木彫 16.5×32.5×13.5	木彫 高橋敏典 1920-2009 刷毛文姥口釜 1963	椿貞雄 1907-1991 藏王 1960代前半 キャンヴァス・油彩 91×116.4	
本章では新海竹太郎と新海竹蔵の作品を中心として紹介します。1968年、収蔵スペース拡充のため別館が建設され、かねてから収集を進めていた山形市出身の彫刻家・新海竹太郎の回顧展を実施しました。同年の6月、竹太郎の甥で当館の顧問も務めた彫刻家・新海竹蔵が急死し、9月に遺作展を開催。その後遺族から竹蔵の作品が多数寄贈されることを受け、竹太郎と竹蔵両氏を顕彰する記念室が設けられました。	新海竹太郎 1868-1927 木彫 16.5×32.5×13.5	木彫 高橋敏典 1920-2009 刷毛文姥口釜 1963	今野忠一 1915-2006 佐藤正巳 1920-2012	
細谷風翁 1807-1882 風竹図 紙本墨画 161×85	新海竹太郎 1868-1927 木彫 13×24.2×11.3	木彫 高橋敏典 1920-2009 刷毛文姥口釜 1963	木彫 昭和時代 乾漆 24.5×9×23	
川崎コレクション	新海竹太郎 1868-1927 木彫 37×19.5×12	木彫 高橋敏典 1920-2009 刷毛文姥口釜 1963	木彫 乾漆 24.5×9×23	
新海竹太郎 1868-1927 風竹図(鳳枝吟月) 1884 紙本墨画 148×77.3	新海竹太郎 1868-1927 木彫 16.5×27.8	木彫 高橋敏典 1920-2009 刷毛文姥口釜 1963	木彫 昭和時代 乾漆 34.5×10×29.5	
大久保伝蔵コレクション	新海竹太郎 1868-1927 木彫 24.5×18.5×12.8	木彫 高橋敏典 1920-2009 刷毛文姥口釜 1963	木彫 会田雄亮 1931-2015 練込山腹紋花器 2000	
新海竹太郎 1868-1927 羅漢像 1908 ブロンズ 83×125	新海竹太郎 1868-1927 木彫 24.5×18.5×12.8	木彫 西村 忠 1928-2016 四稜壺 白銅 27.5×23	木彫 陶 27×19	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 43×16.5×40.5	新海竹太郎 1868-1927 木彫 37×30×24.5	木彫 西村 忠 1928-2016 四稜壺 白銅 27.5×23	木彫 會田雄亮 1931-2015 練込山腹紋花器 2000	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 71.8×57×35	新海竹太郎 1868-1927 木彫 30.5×19.5×12	木彫 西村 忠 1928-2016 四稜壺 白銅 27.5×23	木彫 西村 忠 1928-2016 '07-地表I 2007 鉄金 55.5×39×10	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 30.5×19×21.6	新海竹太郎 1868-1927 木彫 13×14.5×11.5	木彫 新海竹太郎 1868-1927 木彫 36×19	木彫 蓮田修吾郎 1915-2010 公共の空間へ-II ブラスの抱擁 ブロンズ 80×40×15	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 43×16.5×40.5	新海竹太郎 1868-1927 木彫 37×30×24.5	木彫 新海竹太郎 1868-1927 木彫 36×19	木彫 柏倉清助 1926-2018 夏・飯豊(小国) 1989 キャンヴァス・油彩 130×162	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 30.5×19.5×12	新海竹太郎 1868-1927 木彫 13×14.5×11.5	木彫 新海竹太郎 1868-1927 木彫 36×19	木彫 山形美術館寄託	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 43×16.5×40.5	新海竹太郎 1868-1927 木彫 37×30×24.5	木彫 新海竹太郎 1868-1927 木彫 36×19	木彫 川端龍子 1885-1966 月山桜 1952 絹本着色 90.9×106.1	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 37×30×24.5	新海竹太郎 1868-1927 木彫 30.5×19.5×12	木彫 新海竹太郎 1868-1927 木彫 36×19	木彫 結城天童 1913-2011 月山月明 1990 紙本着色 181.8×227.3	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 30.5×19×21.6	新海竹太郎 1868-1927 木彫 13×14.5×11.5	木彫 新海竹太郎 1868-1927 木彫 36×19	木彫 高嶋祥光 1894-1987	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 43×16.5×40.5	新海竹太郎 1868-1927 木彫 37×30×24.5	木彫 新海竹太郎 1868-1927 木彫 36×19	木彫 鈴木 実 1930-2002 私自身の肖像 1998 米松・銅板・オイルステン・金泥 95×62×80	
新海竹太郎 1868-1927 木彫 37×30×24.5	新海竹太郎 1868-1927 木彫 30.5×19.5×12	木彫 新海竹太郎 1868-1927 木彫 36×19	木彫 鈴木 実 1930-2002 私自身の肖像(ジーンズ) 1980 紙・版画 27.5×21	

新海竹太郎 1868-

鈴木 実 1930-2002 私自身の肖像(ジャケット) 1985 紙・版画 29×22.5	華水汲図 絹本着色 156×51 川崎コレクション 吉池青園 1896-1924 日めくり 1915 紙本着色 119.8×58 根上富治 1895-1981 ネックレスを持つ少女 1949 紙本着色 109.8×87 佐藤長草 1891-1924 人物図 絹本着色 145.6×51 星川郷洋 1894-1923 面影 1916 紙本着色 148.5×87.1 桜井祐一 1914-1981 あるポーズ 1965 石膏 104×60×70 桜井祐一 1914-1981 沈む地球 1955 木彫 161×33×72 荻須高徳 1901-1986 マレー地区 1981 キャンヴァス・油彩 116×89 服部コレクション マリー・ローランサン 1883-1956 犬を抱く少女 1921 キャンヴァス・油彩 81×65 服部コレクション モイーズ・キスリング 1891-1953 ジョゼット 1934 キャンヴァス・油彩 103×78 服部コレクション コスティア・テレスコヴィッチ 1902-1978 婦人の肖像 1955 キャンヴァス・油彩 65×54 服部コレクション ポール・アイズビリ 1919-2016 ブイヤベース料理 1953 キャンヴァス・油彩 118×190 服部コレクション ポール・ギアマン 1926-2007 窓辺の人物 1962 キャンヴァス・油彩 150×200 服部コレクション ウラジミール・ヴェリコヴィック 1935-2019 追跡 1980 キャンヴァス・油彩 198×147 服部コレクション	-7 子犬と少年(山形市) 1969 20.5×28.4 -8 春彼岸の頃(尾花沢市毒沢) 1970 22.5×28.5 -9 神輿海を渡る(鶴岡市由良) 1973 18.3×25.9 太田三郎 1950- Post War 46-47 兵士の肖像 1994 紙・コピー 各 28.5×15.2 -1 堀山信太郎(1921-1944) -2 中山成雄(1913-1940) -3 兵頭春次郎(1922-1946) -4 村田弘道(1918-1944) -5 松山孝次(1926-1945) -6 片田彰吾(1915-1944) -7 片田四郎(1917-1945) 太田三郎 1950- POST WAR 50 1994 再生紙・コピー 各 29.1×15.6 -田 富 -閻 喜鳳 吾妻兼治郎 1926-2016 聖バオロ像 1977 プロンズ 38×45×28	と結成され、郷土作家らによる創作活動 が活性化してきました。終戦後の1946 年には、山形県美術家協会(現・山形県美 術連盟)が発足。同年に始まった山形県 総合美術展(県美展)は、現在も本県最 大規模の美術の公募展として開催され、 2025年には80回を迎えます。 本章では地主悌助、高嶋祥光、朝一圭鳳、 小塙義一郎、為本自治雄、工藤道汪らの 絵画を中心に、県美展をはじめ、県内の 美術団体での活動や美術教員として指導 的立場にあった作家らの作品を紹介しま す。 *1 階第1展示室では、「長谷川コレク ション」作品とあわせて、菅原白龍、 後藤松亭、小賀博堂、菊池華秋、山口 将吉郎といった明治期から昭和初期に 活躍した郷土作家の日本画を紹介して います。	道 1915 キャンヴァス・油彩 91×65.1 椿 貞雄 1896-1957 牡丹花籠図 1925 キャンヴァス・油彩 38×38 椿 貞雄 1896-1957 冬瓜茄子図 1942 キャンヴァス・油彩 45.5×78.8 佐藤昌祐 1920-2005 母子 1993 キャンヴァス・油彩 162.1×112.1 佐藤助雄 1919-1987 光に立 1950 木彫 161×45×39 小塙義一郎 1888-1973 ひげの男 1911 キャンヴァス・油彩 45.5×60.6 為本自治雄 1901-1963 北国秋景図 1925 キャンヴァス・油彩 49.5×60.5 山形美術館寄託 今泉篤男 1902-1984 監獄の外郭 1922 キャンヴァス・油彩 45.5×53 奈良村正史 1900-1983 盃山秋景 1928 キャンヴァス・油彩 49.9×60.5 菅野矢一 1907-1991 少女 1943頃 キャンヴァス・油彩 65.2×53 寺崎善弥 1898-1978 十和田湖畔 1924頃 キャンヴァス・油彩 33.4×45.6 土田文雄 1901-1973 座像 1936 キャンヴァス・油彩 116.7×90.9 川合喜二郎 1915-1990 ボロブドールにて 1974 キャンヴァス・油彩 91×72.8 飛塚安吉 1898-1984 サンドニ裏 1965 キャンヴァス・油彩 97×145.5 工藤道汪 1935-2020 ある刻 私の風景' 10 2010 キャンヴァス・油彩 130×162 齋藤 求 1907-2003 チューリップ畑 1985 キャンヴァス・油彩 96×146 石井弥一郎 1898-1972 真鶴(入江) 1968 キャンヴァス・油彩
具象と抽象のあわい				
本章では、清野克巳、岩田ちよ、吾妻兼治郎、 大内晴夫、木嶋正吾、小池隆英など、線や かたち、色彩、あるいは異なる素材の組み 合わせによって、抽象的な造形表現を試み た作品に焦点をあてます。 また、遠藤桑珠や桜井浜江、長岡宏のよう に、空や木の幹、水面といったモチーフを 写実的あるいは形態のデフォルメによって 描きつつも、「具象」「抽象」という範疇に とらわれない、清新な作風を展開する作品 もあわせてご覧いただきます。				
大内晴夫 1948-2019 赤(fragment) 1995 キャンヴァス・アクリル 97×194 大内晴夫 1948-2019 ピンクと黄(party) 1995 キャンヴァス・アクリル 97×194 大内晴夫 1948-2019 青(blues things) 1995 キャンヴァス・アクリル 97×194 大内晴夫 1948-2019 エレメント 1999 キャンヴァス・アクリル 97×194 梅津庸一 1982- 二重フィルター 2020-2021 陶 29.8×23×13				
大内晴夫 1948-2019 エレメント 1999 キャンヴァス・アクリル 97×194 梅津庸一 1982- 二重フィルター 2020-2021 陶 29.8×23×13				
山形の美術の推進者たち				
大正期以降、県内各地域で美術団体が次々 と結成され、郷土作家らによる創作活動 が活性化してきました。終戦後の1946 年には、山形県美術家協会(現・山形県美 術連盟)が発足。同年に始まった山形県 総合美術展(県美展)は、現在も本県最 大規模の美術の公募展として開催され、 2025年には80回を迎えます。 本章では地主悌助、高嶋祥光、朝一圭鳳、 小塙義一郎、為本自治雄、工藤道汪らの 絵画を中心に、県美展をはじめ、県内の 美術団体での活動や美術教員として指導 的立場にあった作家らの作品を紹介しま す。 *1 階第1展示室では、「長谷川コレク ション」作品とあわせて、菅原白龍、 後藤松亭、小賀博堂、菊池華秋、山口 将吉郎といった明治期から昭和初期に 活躍した郷土作家の日本画を紹介して います。				
大正期以降、県内各地域で美術団体が次々 と結成され、郷土作家らによる創作活動 が活性化してきました。終戦後の1946 年には、山形県美術家協会(現・山形県美 術連盟)が発足。同年に始まった山形県 総合美術展(県美展)は、現在も本県最 大規模の美術の公募展として開催され、 2025年には80回を迎えます。 本章では地主悌助、高嶋祥光、朝一圭鳳、 小塙義一郎、為本自治雄、工藤道汪らの 絵画を中心に、県美展をはじめ、県内の 美術団体での活動や美術教員として指導 的立場にあった作家らの作品を紹介しま す。 *1 階第1展示室では、「長谷川コレク ション」作品とあわせて、菅原白龍、 後藤松亭、小賀博堂、菊池華秋、山口 将吉郎といった明治期から昭和初期に 活躍した郷土作家の日本画を紹介して います。				
大正期以降、県内各地域で美術団体が次々 と結成され、郷土作家らによる創作活動 が活性化してきました。終戦後の1946 年には、山形県美術家協会(現・山形県美 術連盟)が発足。同年に始まった山形県 総合美術展(県美展)は、現在も本県最 大規模の美術の公募展として開催され、 2025年には80回を迎えます。 本章では地主悌助、高嶋祥光、朝一圭鳳				